仙台上町段丘の構造

若 生 達 夫

田山 (1936) は、仙台市街ののる段丘を河成段丘とみなし、I 面 (台の原段丘)・II 面 (上町段丘)・III 面 (中町段丘)・IV 面 (下町段丘および宮城野原面) と分け、I~III 面をそれぞれ 4 または 3 に細分し Ia 面 ; Ib 面などと称した。そして、これらの段丘化・各面の細分化は、地盤運動に起因すると考えた。それ以降の諸研究にあっては、地盤運動・地形編年の点からこれら段丘に触れているが、段丘区分は田山 (1936) を踏襲し、仙台付近の段丘編年の基準としている。構造の解明は、田山によって行なわれた以上には進められていない。筆者は、編年の中に構造をもちこむことを主張したことがあったが (若生 1962)、この意味からも、表題の問題について新資料を提出するのである。

図は、仙台市北西部の筆者による新区分および縦断面を示し、田山の区分・細区分との関係は、次のようである。

1) 田山の II 面 (上町段丘) の 1 部は、同氏の言うような河成礫層をもたず、基盤岩 (所によりルーズな礫岩) が地表に露出する侵蝕緩斜面である。これを寿徳寺面と名づける。

2) 寿徳寺面は、田山の IIa 面におおよそ一致する

A Cryopediment, Jutokuji Surface, in Sendai City

Tatsuo WAKO

In the western part of Sendai City the author studied the structure of the river terraces (hitherto called by R. Tayama 1936 and the followers) and found the existence of a gently sloping erosion surface. He has named it the Jutokuji Surface, and the river terrace developing in front of it the Kōtōdai Surface. The Jutokuji Surface is perhaps a cryopediment (T. Wako 1964) with its formation accelerated by upheaval of land to the west, the presumption being supported by a C-14 datum. The Jutokuji Surface and the Kōtōdai Surface correspond roughly to the river terrace IIa and IIb by R. Tayama (1936) respectively.

が、I 面・IIb 面にもわたる。

3) 寿徳寺面は、その上端が、I 面・丘陵の縁辺の山脚状部に漸移したりそれらに浅い谷で入り込む。後者は、管野 (1965) が吉田川流域で示した浅い谷に酷似した形態・構造をもっている。

4) したがって、この地区の地形面は、すべてが河成面ではない。

このような侵蝕緩斜面および関連する浅い谷は、仙台付近の谷沿い・盆地内の河成段丘背後にみられ、とくに宮城野撓曲線など隆起軸に沿って発達が良い。寿徳寺面も、その西方に隆起軸の存在が推定されている位置にある。しかし、仙台付近各地の侵蝕緩斜面は、特定の河成段丘の背後に卓越的に発達し、寿徳寺面東方の上町段丘堆積物が約 31000 年 B. P. の堆積にかかる (Takeuchi 1962) という事実からしても、寿徳寺面は、地盤運動により強調された筆者 (1964) の cryopediment である可能性が強い。

なお、田山の段丘命名は、地名であったり (おそらく) 高低関係 (仙台には上町・中町などの呼び方もない) であったりして、適切な命名法ではない。再区分を機会に新称を提案したい。「台の原段丘」は踏襲し、大体 II 面にあたる部分を寿徳寺面 (侵蝕緩斜面)・勾当台面 (河成段丘面) とする。より下位の段丘面については、それらの構造や沖積面との関係を吟味中であるので、別の機会に提案したい。

管野国雄 (1965) : 吉田川流域の段丘地形 東北地理 17 103-108

Takeuchi, S. (1962) : Palynological Studies on the Pleistocene Sediments of Ipponsugi in the Northern Part of Sendai City, Japan Sci. Reps. Tohoku Univ. 2nd Ser. (Geol.) Spec. Vol. 5 275-277

田山利三郎 (1933) : 北上山地の地形学的研究 その 1 A 仙台近傍の河岸段丘 斉藤報恩会学術報告 17 84 頁

若生達夫 (1962) : 侵蝕緩斜面の形成時期について 第四紀研究 2 104-112

若生達夫 (1964) : 東北日本における地形面と赤色風化殻との関係 第四紀研究 3 197-211